

## ■ 普段のお手入れ



- フロアワイパー（ドライタイプ）等で、強く擦らずにお掃除してください。
- 固く絞ったマイクロファイバーの雑巾での水拭きも最適です。
- 乾拭きする場合はマイクロファイバー等の柔らかい物をお使い下さい。
- 水拭きでも落ちない様な汚れは 20倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布等に染み込ませ拭き取って頂き、最後に必ず水拭きをして下さい。
- 油性マジックなどが付着した場合はマニキュア除光液やアルコールなどで拭きとって下さい。＊ウレタンコーティングは、アルコールに対する耐久性はございませんのでご注意ください。
- ダイニングテーブル、椅子等で脚の硬いものをご使用になる際は、ホームセンターなどで販売されているフェルト等の保護材を貼って下さい。
- キャスター付きの家具のご使用は、保護マット等を敷いてご使用下さい。

## ■ 注意が必要な掃除器具



● 掃除機をかける事自体は問題ありませんが、本体が重い引きずるタイプの掃除機は、車輪に付着したゴミ等で正しい方向に曳かれなかった場合、フロアコーティングを傷つける場合があります。本体を移動する場合は持ち上げて移動させて下さい。またモーターを内蔵した重い掃除機ノズルは、表面に擦り傷をつけてしまう場合がありますのでご注意ください。



● お掃除ロボットの接地面にはゴムローラーとゴミを拾い上げるブラシがあります。ブラシ自体は問題ありませんが、このローラーとブラシの部分に硬いゴミや金属等を一緒に引きずってしまう事で、フロアコーティングに擦り傷がついてしまう場合がございますので、こまめにメンテナンスする等、ご注意ください。



● メラミンスポンジ等の研磨スポンジ、研磨剤やクレンザーなどで擦ると、コーティング面を削ってしまう事になるので、なるべく控えて下さい。また、ツヤ出し、保護効果等のある、科学薬品や油分を含む科学モップは使用を控えて下さい。滑りやすくなったり、品質低下や光沢を失う原因になる場合がございます。



● 床用粘着ローラー（コロコロ）や、シール、粘着テープ、養生テープ等は、使用しないでください。床にベタツキが残ったり、コーティングの剥がれの原因になる事があります。粘着力の強い製品においては、コーティングに傷などができていた場合、コーティング層全体が剥がれてしまう場合もございます。

## ■ 施工直後のご注意

- 脚底の堅いスリッパのご使用は施工後 3 日後から行って下さい。
- 水拭きでの掃除は施工後 3 日後以降から行って下さい。
- 引越し業者様や工事業者様などが入室される場合は、必ずフロアコーティング済みとお伝え頂き、工事などで脚立等を使用する場合は、柔らかい物を敷いて作業するようにお伝え下さい。
- 施工後 1 週間位はアルコールやマニキュアの除光液などの取り扱いに気をつけて下さい。